

ワクチン情報の説明

COVID-19ワクチン： 知っておくべきこと

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis

多くのワクチン情報の説明が、日本語やその他の言語で利用することができます。
www.immunize.org/vis をご覧ください。

1. ワクチン接種を受ける理由は？

COVID-19ワクチンはCOVID-19疾患を予防することができます。ワクチン接種することで、罹患した場合もCOVID-19疾患の重症度を下げることができます。

COVID-19は、SARS-CoV-2と呼ばれるコロナウイルスによって引き起こされ、人から人に容易に感染します。COVID-19に罹患すると、数日のみの軽度から中程度の疾患で終わることもありますが、入院、集中治療、又は人工呼吸器による呼吸補助を要する重度の疾患を引き起こす可能性があります。COVID-19により死亡する可能性もあります。

感染者に症状が現れる場合は、ウイルスに感染してから2～14日後に現れます。軽症から重症の症状は誰にでも発現する可能性があります。

- ・考えられる症状には、発熱または悪寒、咳、息切れまたは呼吸困難、疲労（倦怠感）、筋肉痛または体の痛み、頭痛、味覚／臭覚の新たな喪失、喉の痛み、鼻づまりまたは鼻水、吐き気または嘔吐、下痢などがあります。
- ・より重篤な症状には、呼吸困難、持続性の胸痛や胸部圧迫感、新たな錯乱、覚醒や覚醒維持不能、皮膚の色に応じて皮膚、唇、または爪床が青白くなったり、灰色になったり、青くなったりすることがあります。

高齢者や特定の基礎疾患（心臓や肺の疾患、または糖尿病など）がある人は、COVID-19に感染しやすくなります。

2. COVID-19ワクチン

最新の（2023～2024年製剤）COVID-19ワクチンは、生後6か月以上のすべての人に推奨されています。

生後6か月から11歳までの乳幼児向けのCOVID-19ワクチンは、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration, FDA）の緊急使用許可に基づき使用することができます。詳細については、レシピエントおよび介護者向けファクトシートを参照してください。

12歳以上の人については、ModernaTX, Inc.又はPfizer, Inc.社が製造した最新のCOVID-19ワクチンがFDAにより承認されています。

- ・ **12歳以上のすべての人は**、2023～2024年に更新されたFDA承認COVID-19ワクチンを1回接種する必要があります。COVID-19ワクチンを最近接種した場合は、直近の接種から少なくとも8週間経過してから2023～2024年のCOVID-19ワクチンを接種してください。
- ・ **疾患がある人や、免疫系に影響を及ぼす薬を服用している人は**、COVID-19ワクチンの追加接種を受けてもかまいません。担当の医療従事者が助言します。

12歳以上の一部の人には、代わりにNovavax COVID-19ワクチンと呼ばれる別のCOVID-19ワクチンのアジュバント（2023～2024式）を接種する場合があります。このワクチンは、FDAの緊急使用許可に基づき使用することができます。詳細については、レシピエントおよび介護者向けファクトシートを参照してください。

3. 担当の医療従事者にご相談ください

以下のような方がワクチン接種を受ける場合には、ワクチン接種の担当医療従事者にご相談ください。

- ・ 過去にCOVID-19ワクチンの接種後にアレルギー反応を起こしたことがある、COVID-19ワクチンまたはその成分にアレルギーがある、または**重度の生命を脅かすアレルギーがある**
- ・ **心筋炎**（心筋の炎症）または**心膜炎**（心臓の外側の内膜の炎症）にかかったことがある
- ・ **多系統炎症性症候群**（小児ではMIS-C、成人ではMIS-A）に罹患している
- ・ **免疫力が低下している**

場合によっては、担当の医療従事者がCOVID-19ワクチンの接種を次回の来院まで延期するように判断する場合があります。



U.S. Department of
Health and Human Services
Centers for Disease
Control and Prevention

風邪などの軽い病気にかかっている場合でも、ワクチン接種を受けることができます。中程度または重度の病気に罹患している場合は、回復するまで待つ必要があります。現在COVID-19に感染している人は、病気から回復して隔離が終了するまでワクチン接種はできません。

COVID-19に感染している妊婦は、重症化のリスクが高くなります。COVID-19ワクチン接種は、妊娠している人、授乳中である人、現在妊娠しようとしている人、または将来妊娠する可能性のある人に推奨されています。

COVID-19ワクチンは他のワクチンと同時に接種してもかまいません。

4. ワクチン反応のリスク

- COVID-19ワクチン接種後に、注射した部位の痛み、腫れ、赤み、発熱、倦怠感(疲労)、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛、吐き気、嘔吐、及びリンパ節の腫れが起こることがあります。
- COVID-19ワクチン接種後、まれに心筋炎(心筋の炎症)または心膜炎(心臓の外側の内膜の炎症)が認められる場合があります。このリスクは、12~39歳の男性に最も多く認められています。発症率は低いです。

ワクチン接種を含め、医学的な処置により失神する方もいます。目まいや視力の変化、耳鳴りなどを感じたら、担当医療従事者にお伝えください。

どんな医薬品でもそうであるように、ワクチン接種により重度のアレルギー反応や、その他の重篤な傷害や死亡が起こる可能性はごくわずかにあります。

5. 重度の問題が起きたら?

アレルギー反応は、ワクチン接種を受けたクリニックからの帰宅時に生じることがあります。重度のアレルギー反応の症状(蕁麻疹、顔やのどの腫れ、息苦しさ、速い鼓動、目まい、倦怠感)がみられた場合は、9-1-1番に電話し、お近くの病院を受診してください。

COVID-19ワクチン接種後に、ワクチン接種を受けた人に胸痛、息切れ、速い鼓動、心粗動、または動悸が感じられた場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

Japanese translation provided by Immunize.org

ください。これらは心筋炎や心膜炎の症状である可能性があります。

気にかかる他の症状がある場合は、担当の医療従事者にお電話ください。

有害反応は、ワクチン有害事象報告システム(Vaccine Adverse Event Reporting System, VAERS)に報告する必要があります。通常、担当の医療従事者がこの報告書を提出しますが、あなたもご自身で提出することができます。VAERSのウェブサイト www.vaers.hhs.gov にアクセスいただくか、1-800-822-7967までお電話ください。VAERSは反応の報告のみを目的としているため、VAERSのスタッフは医学的な助言は行いません。

6. 対策型損害賠償補償プログラム

対策型損害賠償補償プログラム(Countermeasures Injury Compensation Program, CICP)は、このワクチンを含む特定の医薬品やワクチンによって重篤な傷害を負った特定の人々の医療費やその他の特定の費用を支援する連邦政府のプログラムです。一般に、ワクチンを接種した日から1年以内にCICPに請求を提出しなければなりません。このプログラムの詳細については、プログラムのウェブサイト www.hrsa.gov/cicp または、1-855-266-2427までお電話ください。

7. 詳しい情報を知るには?

- 担当の医療従事者にお尋ねください。
- お住まいの地域または州の保健局にお電話ください。
- COVID-19ファクトシート、添付文書、および追加情報については、食品医薬品局(Food and Drug Administration, FDA)のウェブサイトをご覧ください www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/industry-biologics/coronavirus-covid-19-cber-regulated-biologics。
- 疾病管理予防センター(Centers for Disease Control and Prevention, CDC)にお問い合わせください。
 - 電話 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) または
 - CDCのCOVID-19ワクチン用ウェブサイト www.cdc.gov/coronavirus。

